



まわる市民協働 通信 2021年春号

情けは人のためならず。自分のため。

まわる市民協働は、自由な個人が、自分たちの問題を解決するために、対話して行動するための自主的な互助のつながりです。

本巣市第2次総合計画 企画ワークショップを開催

2020年9月26日、29日に本巣市第2次総合計画市民による企画ワークショップ「自分でデザインした街はきっと楽しい」を開催しました。

本巣市では、当時、今後のまちづくりの指針となる「本巣市第2次総合計画（後期基本計画）」の策定を進めていました。そこで、担い手自身による、具体的な提案やアイデアを、計画に反映するため、市民ワークショップを開催しました。本巣市が暮らしやすく、活力あふれるまちになるためにどのようなことをすればよいかを、のべ21名の自由参加者と話し合いました。会場は、コロナ禍に対応し、オンラインとまわる市民協働内の特設ブースを用意しました。

このワークショップの結論は、本巣市の計画審議会で発表され、計画づくりに反映されました。

地域の取り組む課題として、起業文化の醸成、放置山林の集約、空き家問題、福祉における当事者発信・アウトリーチ、まちづくりの内部広報、弱者の孤立、課題に気づける場づくり、などを話し、政策として提言しました。



社会プロジェクト相談窓口を開設

自分たちの地域や社会を、自分たちの手で変えていく。
一緒にやってみて、一緒に学ぼう。

「社会プロジェクト相談窓口」は、市民の社会的な活動や事業を応援するための、市民による相談窓口です。岐阜県本巣市および岐阜県内で、社会的な活動や事業に取り組むことを検討している方は誰でも相談できます。年齢、業種、個人・団体、営利・非営利などは問いません。詳しくは、左のQRコードからご確認ください。無料です。





まわる市民協働 通信 2021年春号

情けは人のためならず。自分のため。

まわる市民協働は、自由な個人が、自分たちの問題を解決するために、対話して行動するための自主的な互助のつながりです。

よだかの学校（市民大学） 子どもの権利の研究会を開催

まわる市民協働の支援先である、よだかの学校（西濃地域の市民大学）の主催で、子どもの権利の研究会を開催しました。NPO法人こどもNPO 副理事長 山田恭平氏を講師に、12月17日(木)、1月16日(土)、2月06日(土)の計3回実施しました。

子どもの権利条約の勉強から始まり、岐阜での現状や課題を話し合い、それらを克服するための取り組みや制度、事業についてアイデア開発を行いました。また、研究会終了後、有志によってオンライングループが結成され、継続的な活動が行われています。



福祉有償運送 リフレもとす 有償ボランティア募集

まわる市民協働は、福祉有償運送を行う任意ボランティア団体リフレもとすを支援しています。福祉有償運送（ふくしゅうしょううんそう）とは、NPO等が自家用自動車などを使用して、身体障害者、要介護者の移送を行う活動です。福祉有償運送と一緒にやっていただく有償ボランティアの方を募集しています。詳しくは、まわる市民協働のWEBをご覧ください。

まわる市民協働 会員募集

まわる市民協働は、自由な個人が、自分たちの問題を解決するために、対話して行動するための自主的な互助のつながりです。まわる市民協働の会員になると、場所や資金の支援を受けたり、互助のコミュニティに参加することができます。入会は無料です。詳しくは、まわる市民協働のWEBをご覧ください。

編集・発行・問合せ
<http://mawaru.jp>
058-227-9364

まわる市民協働運営チーム
〒501-0401 岐阜県本巣市上保1261-4
mawaru.design@gmail.com

